

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当社グループの主たる事業である電気事業では、契約電力の減少などから、販売電力量は、569億2千万kWhと前年同期に比べて7.3%減少しました。

収入面では、販売電力量の減少や電気料金の値下げなどにより電灯電力料収入は減少したものの、託送収益や他社販売電力料などが増加したことに加え、その他事業において、ガス供給事業や情報通信事業の売上高が増加したことなどにより、売上高は1,548,597百万円と、前年同期に比べて33,286百万円の増加(+2.2%)となりました。

一方、支出面では、徹底した経営効率化に努めたことに加え、高浜発電所3、4号機の運転再開による費用の低減効果があったものの、燃料価格の上昇により燃料費やガス供給事業の原料費が増加したことなどから、営業費用は1,387,242百万円と、前年同期に比べて40,277百万円の増加(+3.0%)となりました。

この結果、当四半期の連結経営成績は以下のとおりとなりました。

【連結経営成績】

(単位：百万円)

	平成29年3月期 第2四半期(累計)	平成30年3月期 第2四半期(累計)	増 減	
売 上 高	1,515,311	1,548,597	33,286	2.2%
営 業 利 益	168,346	161,354	△6,991	△4.2%
経 常 利 益	160,934	157,852	△3,081	△1.9%
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	119,349	115,219	△4,129	△3.5%

【販売電力量】

(単位：百万kWh)

	平成29年3月期 第2四半期(累計)	平成30年3月期 第2四半期(累計)	前年同期比 (%)
電 灯 計	20,749	19,383	93.4
電 力 計	40,650	37,533	92.3
合 計	61,399	56,916	92.7

(注)四捨五入の関係で、合計が一致しない場合がある。

(2) 連結財政状態に関する説明

(単位：百万円)

科 目	平成 29 年 3 月期末	平成 30 年 3 月期 第 2 四半期末	増 減	
資 産	6,853,182	6,906,449	53,267	0.8%
負 債	5,508,485	5,459,830	△48,655	△0.9%
(うち有利子負債)	(3,821,550)	(3,763,461)	(△58,089)	(△1.5%)
純 資 産	1,344,696	1,446,619	101,922	7.6%

自己資本比率	19.3%	20.7%	1.4%
--------	-------	-------	------

(単位：百万円)

	平成 29 年 3 月期 第 2 四半期(累計)	平成 30 年 3 月期 第 2 四半期(累計)	増 減	
設 備 投 資 額	128,010	153,419	25,408	19.8%
減 価 償 却 費	178,636	168,809	△9,827	△5.5%

資産は、減価償却の進行などにより電気事業固定資産が減少したものの、売掛金が増加したことなどから、前年度末に比べて 53,267 百万円増加 (+0.8%) し、6,906,449 百万円となりました。

負債は、有利子負債が減少したことなどから、前年度末に比べて 48,655 百万円減少 (△0.9%) し、5,459,830 百万円となりました。

純資産は、期末配当金の支払いなどによる減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益 (115,219 百万円) を計上したことなどにより、前年度末に比べて 101,922 百万円増加 (+7.6%) し、1,446,619 百万円となりました。

これらの結果、当四半期末の自己資本比率は、前年度末に比べて 1.4% 上昇し、20.7% となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成 29 年度の業績予想につきましては、大飯発電所 3、4 号機が本格運転に至っていないことなどから、現時点では一定の前提を置いて業績を想定することができないため、引き続き未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能となった時点において、速やかに開示いたします。